

短期予報解説資料 2025年12月25日03時40分発表

気象庁

1. 実況上の着目点

- ① 三陸沖に低気圧があつて、北東進、前線が東～西日本の太平洋側へのびる。前線や低気圧に向かって下層暖湿気が流れ込み、北～西日本ではやや強い雨や強い雨を解析。伊豆諸島付近では雷を検知し激しい雨を解析。
- ② 大陸の高気圧が日本付近に張り出している。①の前線や低気圧との間で気圧の傾きが大きくなっており、全国的にやや強い風が吹き、波が高くしけている所がある。

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の低気圧は、発達しながら北北東進、26日はオホーツク海を北上する。1項②の高気圧が日本付近に張り出し、日本付近は26日にかけて強い冬型の気圧配置となる。また、500hPa 5220m付近の-36℃以下の強い寒気を伴うトラフに対応して、日本海西部で低気圧が発生し急速に発達しながら東進、26日朝は東日本へ進み不明瞭になる。強い冬型の気圧配置や急速に発達する低気圧の影響で気圧の傾きが大きくなり、雪を伴った強い風や局地的には非常に強い風が吹き、波が高く大しけとなる所がある。西日本では26日にかけて、北～東日本では26日は、暴風や暴風雪、高波に警戒。全国的に27日にかけて、強風や風雪、高波に注意・警戒。特に、急速に発達する低気圧の接近・通過時は急に風が強まるので注意。
- ② 日本付近は強い冬型の気圧配置となり、850hPaでは北日本に-15～-18℃、東～西日本に-9～-12℃の強い寒気が流入し、降雪が強まり大雪となる所がある。北～東日本では26～27日は、西日本では26日は、大雪による交通障害に注意・警戒し、着雪やなだれに注意。また、25日夜までに日本海西部に日本海寒帯気団収束帯（JPCZ）が形成され、26日は中国地方を指向する。JPCZ近傍では、平地でも降雪の強まりに注意。
- ③ 2項①の前線や低気圧に向かう下層暖湿気と上空寒気、2項②のJPCZ、また27日に日本海で発生し東進する低気圧の影響で大気の状態が非常に不安定となる所がある。北日本では26～27日は、東～西日本では27日にかけて、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。伊豆諸島では25日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒。

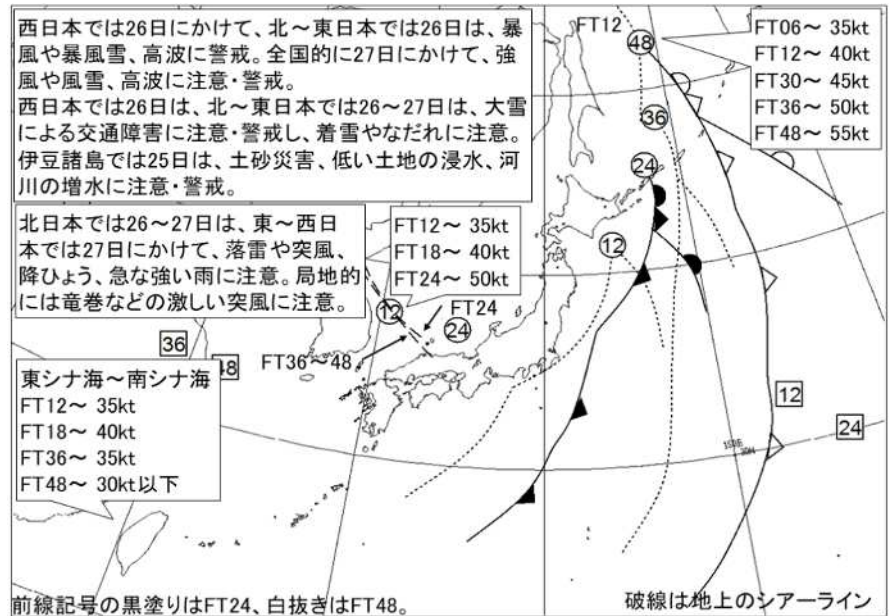
3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項〔量的予報等〕 ① 雨量(06時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。

② 降雪量(06時からの24時間)：近畿30、中国25、東海・九州北部20、北陸15、関東甲信10cm。

③ 波浪(明日まで)：東北・北陸・近畿・中国6、伊豆諸島・九州北部・九州南部・奄美・沖縄5、その他3～4m。④ 高潮(明日まで)：北～西日本では、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 「暴風雪と高波及び大雪に関する全般気象情報」を5時頃に発表予定。



主要じょう乱解説図